あおぞらニコニコ通信
令和4年度12月号

社会福祉法人三田谷治療教育院　明石市立あおぞら園・きららきら
〒674-0092 明石市二見町東二見 1836 番地の 1 ふれあいプラザあかし西 2 階
TEL. 078-945-0280 FAX. 078-945-0281
E-Mail : aozorakirakira@sandaya.or.jp
撮影の為にマスクを外している場合がありますが感染症対策を徹底して行っています。

いつも笑顔！ 浅原園長ごあいさつ

寒さも少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じられる頃となりました。今年も早いもので残すところ1カ月となりました。保護者のみなさまは、どのような1年を過ごされましたでしょうか。子どもたちは、遊びなどのいろいろな生活体験を通して、興味の幅が広がり、自分から進んでできることが増えました。また、さまざまな行事を通して、職員と子どもたちや子どもたち同士のたくさんの楽しい経験もできました。これからの季節は、クリスマスやお正月とあおぞら園やご家庭での行事もあると思います。たくさんの楽しい思い出を作っていければいいなと思います。

ふれあいプラザあかし西（11月時点）

あおぞら園は「ふれあいプラザあかし西」の2階にあります。ふれあいプラザあかし西では、令和4年9月から令和5年3月まで「大規模改修工事」があり、工事期間中は、今までよく使っていた南側の園庭が使えなくなりました。それを最初に聞いたとき「どうしよう?」と思いましたが、これまで日常的に園外へ出て活動ができればと思いながらもなかなかできなかったので、これを良い機会と考えて、お散歩や公園遊びをたくさんすることにしました。これから寒くなってきますが、お天気のいい日には、園外でたくさん自然にふれる機会を作りながら過ごしたいと思います。

再び、新型コロナ感染が広がり、インフルエンザも心配になってくる季節です。夏の間に少し緩んでしまっていた感染症対策を改めて見直し、換気と室内の消毒や手洗いの徹底に努めながらあおぞら園でできることを精一杯やっていきたいと思います。

今年も保護者の皆様のご理解とご協力のもと、子どもの健やかな成長のお手伝いができたこと、心より感謝申し上げます。来年も引き続き、子どもたちの笑顔がたくさん見られる療育を行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

障害のある方のアート展「ARTSHIP 明石 2022」開催！！

今年も特定非営利活動法人明石障がい者地域生活ケアネットワーク（略称：135E ネット）主催の障害のある方の個性豊かなアート展「ARTSHIP 明石 2022」が明石市立文化博物館にて 12 月 14 日（水）から 20 日（火）まで開催されます。※19 日は休館日 /20 日は 15 時まで / 入館料：無料

明石市立あおぞら園・きららきらは各事業所のように作品制作に焦点を当てるのではなく、" アートの原石” をテーマに日々の療育で行う感触あそびや紙あそび、フィンガーペインティング等を楽しむお子様丸ごとをアートと考え、ARTSHIP 明石に参加します。

楽しみながら、そして集中しながら、生み出す表現すべてを受け止めることで、お子様の「もっとやりたい」「もっとこうしたい」という気持ちを引き出し、自己肯定感を育むあおぞら園・きららきらのアート活動を皆様にご覧いただきたく、ARTSHIP 明石ではお子様たちの作品とともに、制作風景を収めた写真パネル等も出展します。

楽しみながらアート活動に取り組むお子様

ぜひ、あおぞら園・きららきらのブースで可能性を秘めた、かわいいたくさんの” アートの原石 " を見つけてください。（服部）

※ARTSHIP 明石 2022 期間中の 12 月 18 日（日）、明石立文化博物館無料ゾーンにて 11 時から 16 時までクリスマスマーケットが開催されます。お菓子やパン、アクセサリー販売はもちろん、音楽演奏や色鉛筆のワークショップなど楽しい内容となっております。

聴覚障害のあるお子様の療育を考える ～聴覚障害児支援力向上研修会～

11 月 3 日（木）に兵庫県立神戸聴覚特別支援学校で行われた、聴覚障害児支援力向上研修会に参加させていただきました。私は、きららきらで初めて聴覚障害のあるお子様と関わりました。とても表情豊かで手話やジェスチャー等でコミュニケーションをとっています。今回の研修で、聴覚障害の早期発見・療育の重要性を学ぶことができました。また、医療・福祉・教育が密に連携することで一人ひとりに応じた支援に繋がると感じました。

ワークショップでは、様々な立場から聴覚障害のお子様に関わる方たちと「困り感」をテーマに話し合いました。やはり、コミュニケーション面での困難が多いという意見にまとまりました。本人のみではなく、周りの大人、聞こえる子どもにどのように表現すれば伝わるのか、本人にとって将来に役立つための表現方法はどのようなものかということを考えることができました。

つどいに取り組む大杉先生

今後も正しい知識を身に付け、聴覚障害のお子様とも密に関わっていきたいと思います。お子様の気持ちを受け止め、お友達ともより深い関わりが出来るよう努力していきたいと思います。（大杉）

「サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者連絡会」のご報告

パネラーとして発表する大向主任

11 月 18 日に行われた明石市地域自立支援協議会主催の「サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者連絡会」の企画、運営に携わらせていただきました。

本会はサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者間の繋がりを作り、事業所間の連携強化や業務についての意見交換や実践報告、相互学習に取り組んでいくために立ち上げられ、第一回目を無事開催することができました。

当日は、多忙な業務の中、80 名を超える方々に参加をしていただきました。午前中は実践報告として地域との繋がりや様々な取り組み、サービス管理責任者としての悩みや取り組みの工夫を報告していただきました。午後からはディスカッションとして、私を含め企画、運営を行っているコアメンバー 4 名がパネラーとなり、各々の事業所での取り組みやサービス管理責任者、児童発達支援責任者として気をつけていること、仕事のやりがいなどを発表しました。最後は、グループに分かれて今日の感想や日々の悩み、自分の事業所ではどのように取り組んでいるのか等、情報交換をしました。

当日 80 名を超えるたくさんの方が参加をされたことから、他事業所との連携や繋がりを持つことが必要だと感じている方がたくさんいるのだと感じました。また、様々な事業所が繋がることで、利用される方へ切れ目のない支援ができると強く感じました。

たくさんの方々の参加により熱気あふれる連絡会

明石市内には就労支援事業所や放課後等デイサービス、児童発達支援事業所がたくさんあります。個々の事業所で支援を完結するのではなく、関係機関と連携をとり、利用される方の幸せに繋がるような支援ができればと思います。そのために、今後も事業所間での連携や情報交換ができる場を作れるように努力していきたいと思います。（大向）